

情報連絡員報告総括表（令和3年2月分）

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名（100%）

業界の景気動向（前年同月比）

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>（臨時・パートを含む）</small>			業界景況			
	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化	
製 造 業	食 料 品		2	2	1	3		1	2	1		2	2		1	3		2	2		2	2		3	1		2	2
	織 維 工 業		1	2	1	2			3			3			2	1		2	1		2	1		2	1		1	2
	木 材 ・ 木 製 品			1			1		1			1		1			1				1		1					1
	紙 ・ 紙 加 工 品			2		1	1		1	1		1	1		2	1	1				2		2					2
	印 刷			1		1			1			1			1			1			1		1					1
	化 学 ・ ゴ ム																											
	窯 業 ・ 土 石 製 品		1	2	1	2			3			2	1		2	1		3			3		3				1	2
	鉄 鋼 ・ 金 属		1				1			1		1			1		1			1		1		1				1
	一 般 機 器		2	1		2	1		3			2	1		3		2	1		3		3		2	1		2	1
	電 気 機 器			1			1			1		1			1			1			1		1					1
	輸 送 機 器	1					1		1			1			1				1	1			1			1		
	そ の 他																											
小 計	1	7	12	3	11	6	1	15	4		13	7		7	13	1	12	7	1	11	8	1	16	3	1	6	13	
非 製 造 業	卸 売 業		2			2			2			2			1	1		2					2			1	1	
	小 売 業	2	2	2	1	3	2	1	5			4	2		3	3		3	3				5	1	1	3	2	
	商 店 街			1			1		1			1			1			1					1				1	
	サ ー ビ ス 業		3	2				4	1		4	1		3	2		4	1					4	1		4	1	
	建 設 業		2	2					3	1		3	1		3	1		3	1				3	1		3	1	
	運 輸 業		1						1			1			1			1					1				1	
	そ の 他			1					1			1			1			1					1				1	
小 計	2	10	8	1	5	3	1	16	3		14	6		10	10		14	6				17	3	1	11	8		
合 計	3	17	20	4	16	9	2	31	7		27	13		17	23	1	26	13	1	11	8	1	33	6	2	17	21	

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(令和2年2月～令和3年2月)

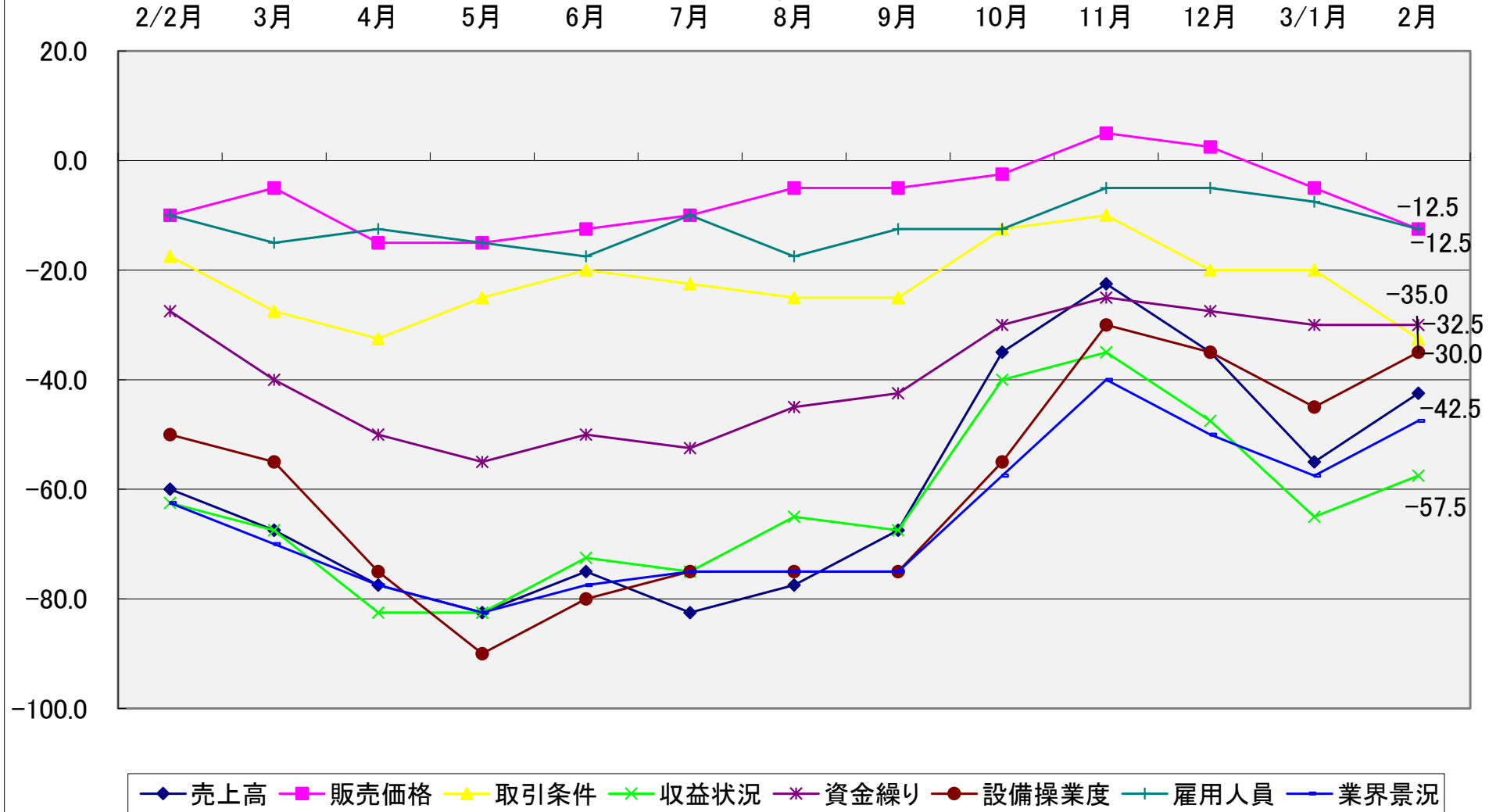
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	2/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3/1月	2月	増減
売上高	-60.0	-67.5	-77.5	-82.5	-75.0	-82.5	-77.5	-67.5	-35.0	-22.5	-35.0	-55.0	-42.5	12.5
販売価格	-10.0	-5.0	-15.0	-15.0	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-2.5	5.0	2.5	-5.0	-12.5	-7.5
取引条件	-17.5	-27.5	-32.5	-25.0	-20.0	-22.5	-25.0	-25.0	-12.5	-10.0	-20.0	-20.0	-32.5	-12.5
収益状況	-62.5	-67.5	-82.5	-82.5	-72.5	-75.0	-65.0	-67.5	-40.0	-35.0	-47.5	-65.0	-57.5	7.5
資金繰り	-27.5	-40.0	-50.0	-55.0	-50.0	-52.5	-45.0	-42.5	-30.0	-25.0	-27.5	-30.0	-30.0	0.0
設備操業度	-50.0	-55.0	-75.0	-90.0	-80.0	-75.0	-75.0	-75.0	-55.0	-30.0	-35.0	-45.0	-35.0	10.0
雇用人員	-10.0	-15.0	-12.5	-15.0	-17.5	-10.0	-17.5	-12.5	-12.5	-5.0	-5.0	-7.5	-12.5	-5.0
業界景況	-62.5	-70.0	-77.5	-82.5	-77.5	-75.0	-75.0	-75.0	-57.5	-40.0	-50.0	-57.5	-47.5	10.0

(注1) 「D I」はディフェーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
食料品	漬物	野菜全般が豊作のため漬物原料野菜は順調な入荷となっているが、生産者の高齢化と後継者不足により、一部業者の中では漬物原料野菜の供給不足は続いている。そのため伝統的な漬物においても原料不足のため、代替原料による新たな商品開発の試みが行われている。また販売状況においても、コロナウイルスに関わる外出自粛の影響により、駅、土産物店等での土産物の漬物の販売および外食産業での需要が大きく減少している。さらに中部ブロックの漬物製造管理士試験を令和3年3月14日(日)、愛知県名古屋市「名古屋調理師専門学校」で開催することになった。改正食品衛生法に基づく営業許可制度の見直しに対応し、営業許可申請を行った。	
	醤油味噌	コロナの影響もあり、総じて良くない。当組合も無利子融資の借入を追加申請する事になりそうである。子会社の2社のうち1社は既に申請を行った。早く回復してほしい。	
	豆腐	コロナによる自粛ムードの中、飲食店への食材としての豆腐湯揚げの納品は、昨年比で大幅に減少している。昨年の2月はまだ対岸の火事であった。	
	製麺	第3波が発生して観光関係が大変苦しんでいる。まだまだ見通しが見えない状況であるが、前向きに取り組んでいくしかない。流通関係をはじめ、内需商品は売上が伸びている。それぞれのジャンルによって売上が大きく異なってくる。	
繊維工業	テントシート	年度末を控え、活発な事業所もあるが、全体としては低調な景況である。	
製 造 業	紙・紙加工品	紙器段ボール	車関係の段ボールも輸出向けを中心に回復している。組合員企業により業績はまだら模様であるが、大幅なマイナスは無くなってきた。
		古紙	2月の仕入れ量は：段ボール・約94±6%新聞、チラシ・約80±5%、雑誌・雑がみ、その他を合わせて約85±5%と思う。集団回収がコロナウイルス感染症により軒並み中止で新聞販売価格上げやチラシの減少とアプリ化等が数字に表れている。オフィス消費が全般に減少し家庭内消費が増えた物もあり家電や量販店・大手総合スーパーマーケット等は段ボール古紙の発生が多い様に思う。昨年困ったマスクや殺菌剤・体温計等は生産対応により店舗販売が戻り、マスク・手洗い・消毒・ソーシャルディスタンスの御陰でインフルエンザ等の感染症も防げている様である。トイレトペーパー・ティッシュペーパー等の家庭紙は、インバウンドを含む人の移動激減等により消費も低迷している様であるが、製紙会社様の製紙原料古紙の購入量は3月決算対策を含め昨年同様の平均20%程のマイナス発注が続いており、更に一部の製紙会社様で古紙価格下げの連絡があった。国内に売れない古紙を低価格で輸出しようとしても海上コンテナ不足と運賃の値上がりで苦しい状況であるが古紙在庫で困っている事業者は一部の様である。古紙の持去り行為は無くならず、ゴミの不法投棄はやつと処分料金等を請求・入金できた事が救いである。経済産業省の事業の再構築支援が採択されて、将来の夢と希望に繋がればと願い準備しようと思う。
印刷	印刷	繁忙期を迎えてさすがに忙しくなってきた。それでも昨年同時期と比べての減少傾向は続いている。また新年度の受注は、昨年同時期のコロナ禍による減少が続くそうで不安である。	
窯業・土石製品	伊賀焼	伊賀焼伝統産業会館については、来館者数、陶芸体験の人数が減少しているものの売上は前月同比を比べ多少増加している。	
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産高は1月と比べ増加傾向にあり、自動車関連はかなり回復してきている。半導体関連は2月に入り殆どの顧客より増産要請があり、3月以降も同じような傾向になる模様である。その他の建築関連、ガス関連、機械関連は徐々に回復されてきたが大きな伸びはなく低迷状態が続いている。	
一般機器	四日市	2015年から2018年の3年間で従業員4~49人の中小製造業が全国で19万社から15万社に減少したと報じられた。昨年からのコロナウイルスの感染による経済破壊でいかなるダメージが生じるのだろうか。何故日本でワクチンが造れないのか。	
	津市	半導体不足と先日の東北地方の地震で自動車の生産が止まっているという事で受注減が心配されるが、まだ2次下請の中小企業までは影響が出ていないが、3月以降の受注動向が心配である。組合員の中には依然として週2日休業している所もあり、まだまだ仕事量は戻ってきていない感じがある。	
	伊勢	非常事態宣言が関東の3都県を除き2月末で解除され、残る首都圏も改善されてきている。ワクチンの接種も始まり、このまま感染拡大が収束していく事に期待している。今の状態が続くと、更に下振れとなり困る。	
電気機器	鳥羽	受発注が一段と落ち込み雇用調整に入り、一時帰休をしている。	
輸送機器	鈴鹿	一部のメーカー、車種では半導体不足および東北地方での地震の影響による減産、休業が実施されたが、今のところ影響は限定的であり懸念されていたほどのものではないようである。メーカーでも減産、休業をしている一方、別の部署では土曜日稼働するなど、全体的には引き続き繁忙な状況である。	
	青果	野菜前半：適度な雨で生育が進みほうれん草、小松菜、キャベツ、新キャベツが安い。春が近づきタラの芽、フキノトウの入荷も増えている。じゃがいもの高値が続いている。野菜後半：県内産の菜花の入荷が増えて手頃な価格になってきた。レタス、サニーレタス、ほうれん草、小松菜、フロッコリーも値下がりしている。筍、ウド等の春らしい食材の入荷も増えている。果物前半：伊予柑、はるみ、はっさく、デコポン等の柑橘類の種類も多くなり、例年より価格も安い傾向にある。莓は県内産を中心に安値が続いていたが、来週からは値上がりしそうである。野菜後半：みかんは入荷が少なくなっているが、柑橘類が多く出回り価格も手頃になっている。青森産りんごは例年より安い。アールスメロンは値打ちな価格が続いている。莓は人気があり、今が食べごろであるが、価格は値上がりしている。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
小売業	自転車	当業界にとって年間を通じて最活況を呈するのが春である。コロナ禍が約1年過ぎた今、国内需要は1年前のレベルに戻ってきたようである。しかし問題は去年より高まった。欧米を中心に諸外国で生じている完成車、部品の品不足の厳しい国内での影響である。3~4月の入学シーズンの「春需」に対する在庫の確保がままならない。世界的な自転車需要の高まりは歓迎すべき事である。当業界は将来的にこれをチャンスとして生かしていく努力が求められていると思う。
	電器	2月も前月同様、前年に対してはアップが出来た。ただ、前年は消費税後の景気低迷があり比較は出来ない。販売については前年数字はクリアしても経営的には厳しい状態が続いている。年度前半の販売の落ち込みの影響で経営状況は依然厳しい状況が続いている。原因は長引く新型コロナ禍の影響は大きく、4月からの累計では依然2桁に近い大幅ダウンで経営は厳しい。こうした中、組合加盟各店では将来に対する不安も多くなっている。商品面では大画面有機ELテレビ及び液晶テレビ・暖房対応エアコン・コロナ関連空気清浄機及び次亜塩素酸を活用した空間除菌脱臭機が好調で販売アップに貢献した。販売店の在庫面では季節の変わり目と併せて商品の切り替えがあり在庫増になってきた。このような状況の中、経営者の高齢化のため、自主廃業の店及び組合脱退店も出てきている。
	石油	コロナ禍の中で売上が落ち苦しんでいるところへまた、カーボンニュートラルの話題が出た。テレビのニュース等では急に水素燃料の話や蓄電容量のリチウムイオンバッテリーを備えた電気自動車の話題や国際的な開発競争の話ばかりである。SS業界にとっては暗い話ばかりであるが、中小企業庁からの「中小企業等事業再構築促進事業」が示された。我々SS業界もこの1兆1,485億円の予算にあやかり、新規事業分野への進出、業態転換、事業・業種転換の取り組みや事業再編等大いに取り組みを考え、生き残って行く必要がある。
	スポーツ	4月入学予定である中学生対象の販売が始まった。ここ10年で驚く程、生徒数が減少している。特に三重県は南勢からじわじわと進んできている。小学校の統廃合は凄まじく、毎年かなりの数の学校が消えている。それが中学生徒数、高校生徒数に響いてきている。このビジネスも考え直す時期にきているようである。
商店街	熊野市	新型コロナウイルス感染拡大に伴う県下での「非常事態警戒宣言」の延長に伴い、昨日に引き続き開催を予定していた商店街での朝市イベントは中止となった。県南部においては感染は収束傾向にあるが、飲食店等は、独自の時短営業をしている事業者も多く、今後の経済的影響は相当厳しい状況になりつつあると感じる。
サービス業	旅館	「緊急事態宣言」が発出され、解除を期待していても延長される事が想定されている事から、客足は伸びず営業経費を考慮して休業している施設が多かった。ただ休前日はリゾート地の施設は30~50%程度の集客であったようであるが、ビジネス客の多い施設は更に落としていたようである。
	測量	仕事柄、新型コロナウイルス感染の可能性は少なく作業に影響なし。相変わらず、官民とも仕事量は減少している。
	警備	例年この月は各市町村マラソン大会の交通警備の受注があるが、今年度は美し国駅伝の中止をはじめとして、殆どの市町村で中止のため、その分売上が減少した。
建設業	総合工事業	当初予算を財源とする工事発注は概ね発注済となり、月別受注高は最小となる見込みである。しかし、国土交通省の工事事務所では令和2年度3次補正予算による工事発注が始まった。11月から減少傾向にあった月別受注高が底を打つ事が期待される。3月下旬には令和2年度補正予算による三重県発注の工事も入札手続きに入る見込みであり、切れ目のない受注環境の整備が期待できる。
	内装工事業	毎年この時期は年度末で売上は多いが、今期は対前年同月の数値が高い事もあり、大幅な減少となった。これも新型コロナウイルスの影響があると思われる。今期も残り1ヶ月となったが、早く新型コロナウイルス感染が収束しないと悪い流れが続くと懸念される。
	水道工事業 (亀山)	給水器具の需要が多く、品薄状態となっている。現状、発注から入荷までに3ヶ月程度必要である。特に自動水栓が入手困難な状況である。施工が止められないので従来の手回しタイプのハンドルを取付け、入荷後に交換するので、ひと手間かかっている。またエコキュート等のエコ製品も交換時期となっており、エコ給湯器等も品薄状態である。
運輸業	トラック	軽油価格は先月に引き続き上昇した。車載向け半導体の調達難から自動車生産ラインが一時停止した事から、自動車関連の輸送は大きな影響を受けた。公共工事も2ヶ月連続の減少となった事から、ダンプ等の稼働率が下がった。個人消費は巣ごもり需要から飲食料品、家庭用電気機械器具等の売上が伸びた事から輸送量も拡大した。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	今月には一度、地域特産めん協議会を開催していきたい。
一般機器	四日市	政策の後ろ、ワクチンの遅れ、省庁の不始末等、国民の感情を逆なでする事が多い。政治不信が募るばかりである。
サービス業	旅館	「地域内宿泊クーポン」について 第三次補正予算において「地方創生臨時交付金」が各自自治体に交付される事から、ふるさとの魅力再発見を図りながら、いち早く地方経済の促進と需要喚起策を促進するための補助金を優先的に地域内宿泊クーポンを実施してほしい。